

令和2年度 学校図書館活用推進事業の取り組み 実践報告

新潟市立和納小学校 図書館教育部

1. 岩室中学校区小中連携事業計画

岩室中学校区の取り組み



令和2年5月21日(木)・11月17日(火)岩室中学校の図書館にて岩室小学校・和納小学校の図書館主任・学校司書が集まり、岩室中学校区での学校図書館活用推進事業の取り組みについて話し合いをおこなった。その結果、①「三校でのおすすめの本」紹介を交換(「うちどく」(家読)シートを使用する。)・②「9年間で身に付けさせたい資質・能力と目指す姿」を目標として**主体性・自己表現力・自己肯定感を**目指す。

「目指す子ども像」

「地域を誇りに思い、自分に自信をもって主体的に行動する子ども」



図書館教育部

9か年で育みたい情報活用能力と、中学校区で取り組む学校図書館の活用の仕方

低学年・・・自分の読みたい本を探することができる。

中学年・・・百科事典、図鑑などで目次や索引を使って調べることができる。

高学年、中学生・・・資料を活用してテーマに則した自己解決を図ることができる。

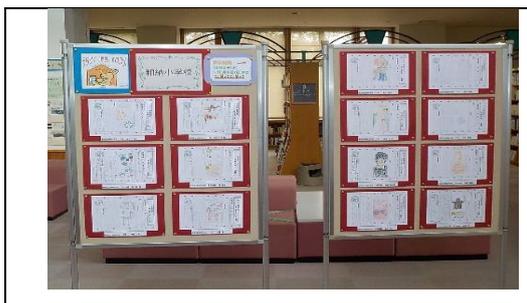
低学年のうちから日本十進分類表に基づく10の分類を身につける。そのことを、目標としていくことを確認しあった。

中学校区としての図書館教育部としての三校の取り組み実践

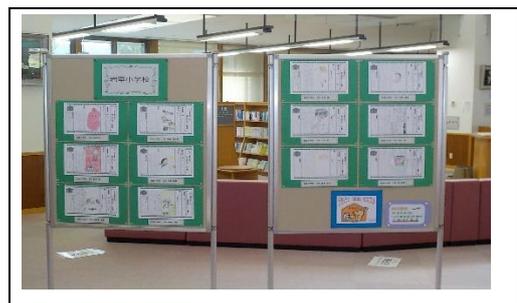
①「三校でのおすすめの本」紹介を交換

岩室図書館に「うちどく」(家読)シートの展示をさせていただきました。和納小学校・岩室小学校の二校で展示。期間10月8日(木)～11月8日(日)まで約1ヵ月間。岩室図書館の方からたくさんの方が見に来られましたとお聞きしました。ありがとうございました。

新潟市立和納小学校



新潟市立岩室小学校



新潟市立岩室中学校（和納小学校にて展示）



岩室中学校に和納小の「うちどく」を展示した様子。



②「9年間で身に付けさせたい資質・能力と目指す姿」

9 か年間で育みたい情報活用能力と、中学校区で取り組む学校図書館の活用の仕方を理解するために現在の知識を把握するアンケートを実施する事とした。アンケートの目指すところは、小学校では国語の教科書にある、「図書館へいこう」の単元の内容を目当てにポイントを考えました。

三校共通の図書館アンケートの実施

和納小学校 2年生 34人
 (対象) 4年生 31人
 6年生 40人

和納小学校アンケートの結果

- 問1 分類番号を書いてください。
- 1、 「物語の本は、 類」
 - 2、 「歴史の本は、 類」
 - 3、 「料理の本は、 類」
 - 4、 「スポーツの本は、 類」

岩室中学校区の三校で、図書館をうまく使えるようにするために、児童・生徒がどの程度図書館について知っているのか知りたくて、三校で同じアンケートを取ることにしました。正解することが目的ではないので、わからなくても構いません。アンケートの結果をもとにして図書館をうまく利用してもらえるのか考える参考にしたいと思います。

